

中央環状品川線(大井行き)トンネル工事

発注者 : 首都高速道路(株) 東京建設局

施設所在地 : 東京都品川区

調査見学時期 : 平成 25 年 9 月 24 日 (火)

工事概要

東京都建設局と首都高速道路(株)が建設中の中央環状品川線シールドトンネル工事の現場です。

中央環状線は、首都圏に計画されている3つの環状道路のうち、最も内側を走る総延長約47kmの環状道路です。中央環状線が全線開通することにより、高速道路全体のネットワークが効率よく機能し、都心環状線の慢性的な渋滞が緩和され、さらに、一般道路の混雑も緩和されることから、沿道の環境改善が期待されています。

今回は、延長約8kmのトンネルをバスで往復しました。シールド工事は終了していましたが、上下線の離隔が約3mしかない超近接トンネルを誤差5cm以内で掘削してしました。工事の見どころとして、内装関係の仕上げと、換気塔が地上から掘り下がって接続する工事、五反田出入口、さらに工事終点付近では、供用中のシールドトンネルに接続する準備が行われており、シールド工事とは異なる難易度の高い接続工事の技術の高さを実感することができました。(GECニュース第289号より抜粋)



到達部から発進を見る



到達部見学状況